

中齋塾東京フォーラム  
平成 31 年度 第 3 回講話

平成 31 年 3 月 9 日  
於 湯島聖堂

おはようございます。今日は新鮮味があって、とてもようございます。新しいことは何か良いですね。吉良さんが司会で前に出ると、和やかな風が吹いてくるという感じで、ようございました。

吉良評議員一有難うございます。

それに春の食べ物よいですね。今朝たけのこ頂きました。同時に、さて、今日は何食べようかなと思います。昨日はカボスとフキノトウに味噌をつけてコショウをつけたもの。目がぱしっと開きました。美味しいより何だこれかと思って、確かにそういう苦味のあるものでした。話がそれで悪いのですけども、4月の第1第2日曜日、嵐山でたけのこ掘りを行います。希望者がいたら一緒にと思っています。去年は予定がうまくいなくて、4月後半にたけのこ掘りに行ったら、ありませんでした。

今年は岡本理事長体制に入ってから、個別に素読の練習をしています。酒井さんのときは、素読の練習を一所懸命させていただいた。国井さんは、これだけ論語を調べてきたというものを聞いていました。成る程すごい。たくさん調べています。でも、たくさん調べてどれを話せば良いのか分からなくなりましたと言っていました。私が話す時は、だいたい調べたものは半分ぐらいしか話しません。できなかった話を、他の場所で、ここで言おう、あそこで言おうとなります。考えてみたら、私は第2・第3・第4土曜日は、フォーラム・茶話会で定期的に話をさせていただいています。毎週金曜日の夜は鉄砲洲神社で詩吟を教わるかわら、やはり同じような話を凝縮して話をしています。だからここで話ができなくても他で話ができるから調べたものは結果として無駄にはなりません。国井さんが調べた物と、私と今朝うち合わせした物を少しご紹介したほうが良いかなと思います。

国井さんが論語で思ったのは、中国という国は論語という素晴らしい本を作った。他にも良い古典を作ったけれども、焚書坑儒をした。良い古典の本を燃やしたり儒者を埋めたりということです。イスラムだって似たようなことをしています。お釈迦様とて、姿形を模した像を作ってはいけないといっていたのに、しっかり仏像になっている。どういうことなのかとちょっと不思議に思いました。まあそれで、焚書坑儒の話をしたということ。あとは、佐藤一斎が荻生徂徠のことを批判した書物があつた。これについてもどうでしょ

うというから、良いですねという感じで打ち合わせをしました。国井さんの話だし最初は焚書坑儒だけがちょろっと出てきて、そのうちね、下を向いてしまった。全体に向かって話をしないで、できれば目の前に座っている人が一所懸命に聞いてくれるようだったら、その人にだけ向かって話せば良いのです。今日、国井さんに覚えていただくのは、たくさん調べたら、一つだけにする。全部書いて暗記しておくと話せます。それを目の前に座っている人にだけ言う。そうすると次からは、気分が良くなって話ができます。

私は時々思い出すけれども、200人ぐらいの警備業の講習会で、脱線するのが好きなもので、喋り出して脱線しはじめたら、手を挙げる人がいたから「何ですか」と聞いたら「今日の講義は本来の我々が教わるべき内容の物と違うので、本来の講義の内容に戻ってお話をいただきたい」と。私は「気分壊しましたから終わり」と、お終いにしちゃったことがある。最初の頃はよくありました。最近はまるくなりまして、お終いと言って帰るのはしていません。

### 《論語の視点》

【三七】子曰く、君に事<sup>きみ</sup>うるには、其<sup>そ</sup>の事<sup>こと</sup>を敬<sup>けい</sup>して、其<sup>そ</sup>の食<sup>しょく</sup>を後<sup>あと</sup>にす。

【三八】子曰く、教<sup>おしえ</sup>有りて類<sup>るい</sup>無し。

初めての方もおられるから説明します。読むときに、別に「曰く」は「いわく」でなくても良いです。「のたまわく」でも良いです。年配の方は「のたまわく」と読みます。木内信胤先生の年代の方はそうです。漢字は、時代によって読みかたが変わります。自分が習ったときの読みかたで読めば良いでしょう。自分が好きな読みかたで読めばよい。そうお考えになって結構です。

「君に事うるには、其の事を敬して、其の食を後にす」お年寄りの孔子がこれから良いところへ就職したいという若者達に、就職の方法を教えています。

社会に出た頃、自分の働きぶりを見て給料を決めてくれという上司とか先輩が結構いたと思いますが、そういう人いませんでしたか。就職のときにそういう事を言う人、けっこう多かったと思いますが、いかがですか。いますよね。ということを孔子が教えています。

「君」は主君、君主です。「事うるには」は、仕官・就職するときには。「其の事を敬して」事は仕事です。「敬」は大切。仕事を大切に。「其の食を後にす」食は給与・報酬ということです。その給料は後回しにする。孔子がいうのは、自分を内閣総理大臣のようなポストで採用してくださいと就職活動したら、主君に、自分の働きぶりを見て、よくやっているなど思ったら、それに見合った給料を払ってください。最初から「お金これだけ下さい」と間違っても言うてはいけないよと、年寄りの孔子が、これから勤めたいという若い

人たちに教えている図式です。

「子曰く、教有りて類無し」教有りてと言います。教というのは教育です。類というのは、国井さんが調べて話した時に、初めから善悪そういうものがあるわけじゃない。教育の内容によって、善にも染まるし、悪にも染まるという内容でした。それは結構ですと言ったのですが、解釈の仕方は色々あります。これは宇野精一先生の解釈です。宇野先生は、平成とか元号を考える側の学者のお一人です。ここの湯島聖堂の現在のトップは石川忠久先生ですが、忠久先生の前が宇野先生。宇野精一先生は90歳過ぎても自分の足で歩いておられました。最近気がついたことがあります。歳を取れば取るほど、意識して足を大きく踏み出すがよい。昨日、駅の中にある喫茶店でコーヒー飲みながら歩いている人を見ていますと、若い人は大股でぱっぱ歩いている。それからハイヒール履いて歩いている人は、ちょっと幅が狭い。若い女の子で、ぺたんとした靴を履いている人はもう大股で歩いていた。男は更にどんどん行く。お歳になると屈んできて、小股で歩くようになっている。大股に歩く努力をするとよいでしょう。あとは首を上げろということです。

「教有りて類無し」教えは、椅子に座って机の前でお勉強するだけが教育ではございません。外に出れば、歩くときもそれも教育で、教えです。人と話をしたら、観察したら、それみんな教えです。自分に役立つものがあって初めて、類無し。「類無し」は、この人はお金持ちだからよく教えましょう。この人は貧乏だから粗末に扱ひましょうなんてことはしません。全部平等に扱ひます。差別はしません。

たくさんあると、全て細かく説明するのが大変です。二つだったら掘り下げていろいろ脱線しながら話せます。

## 《時事評論》

昨夜泊まったホテルは珍しく朝日新聞が入っておりました。見た瞬間、西谷さんを思い出して、今日は朝日新聞について話ができると思いました。

今日の新聞みますと「天皇即位 秋に恩赦へ 政府 規模は縮小の方向」と書いてあります。見出しによって印象が変わります。ここで譲位とは書いてないですが、イメージはバトンタッチです。今上天皇が退位されて、皇太子殿下が次の天皇になられる。これはやっぱりバトンタッチだと思います。でも中身を見ますと、憲政史上初めてとなる退位については、恩赦は実施しない方針と書いてある。これから天皇になられる方のために恩赦は実行いたします。ただし規模は小さくです。見出しと中身が、おやっ？そんな感じを今日は思いました。左の記事のベネズエラの母子の写真は大きいし、やっぱり写真は凄いね。見出しが「私たちを見て。これは人道危機 飢死寸前の写真です。この写真も氣になったら、誰が、どこで、どういう状況で撮ったのだらうと調べなければ怖いです。前に油を浴びて真っ黒になった鳥の写真があった。それが書いてある文章と写真が違っていたことがあります

ました。だから見た瞬間にすぐ信用しない。でも心が素直な人は見た瞬間に大変だなと思う。そしたらその気持ちを大事にして、寄付するなら寄付は良いと思います。ある程度、歳を重ねると、この写真は本物？何を意図としているのかみたいなことを考えるようになる。

昨日、同じく朝日新聞。景氣のことが書いてあります。たまたまコンビニに行って朝日と産経新聞を買いました。面白いなと思ったのが、朝日新聞「景氣すでに後退の可能性 1月動向指数判断引き下げ」って書いてある。これが同じ3月8日の産経新聞の大きい見出しで「景氣下方へ変化」それより少し小さい文字で「1月指数 すでに後退の可能性」産経新聞も「すでに後退の可能性」って書いてあるが、朝日新聞は「すでに後退の可能性」という見出しは、ああ、景氣はもう悪くなっているのかなって思う。可能性だから、なりつつあるのかなと思うわけです。産経は「景氣下方へ変化」って書いてある。下方へ変化ってことは、もう悪くなっちゃったという印象です。

あと面白いと思うのは、産経新聞(3/8)「戦後最長景氣 幻にも」という見出しは、「にも」なるかもしれませんねという書きかたです。

これは今朝の朝日新聞で、記者会見で麻生財務相「緩やかに回復 認識維持」現時点では緩やかに(景氣は)回復していると述べる。新聞に書いてあるのは嘘だと言っているわけです。しかもこの人は政府の責任者でしょう。政府の責任者が、緩やかに回復しているという認識を維持だから、強情を張っていると言い張っていると、まあ見出しはそうなっています。麻生財務相は景氣動向の下方修正に対して、まだまだそうは言えないよ。同じ新聞でも書いてある所を違えると、正反対のことが書いてあったりする。

それから、朝日新聞(3/8)で三菱UFJリサーチ&コンサルティングの小林真一郎さんという人が、「景氣動向指数の基調判断は2014年にも今回と同じ表現の「下方への局面変化」に下方修正されたが、当時は景氣後退とは認定されなかった。だが、状況は今回と明らかに異なる」とあり、過去同じ言葉で、下方への局面変化に下方修正されたけれども、それは結果的に景氣が悪くなったとは認定されなかったと書いてある。こういうのを読むと、分からなくなってくる。ずっと読んでいくと、景氣が落ちたかどうかは1年ちょっと経たないと正式に決められませんということが色々なところに出てきます。新聞の1面でも気になるのは、こう書いて良いのだろうかという懸念もあったり、これは大きいから解説しようってことがあったり。これはよく皆さんに知らせなきゃいけないなと思ったものについて話しています。色々なところで正反対の記事も載るし、解説も載っている。いろいろあります。同じ新聞でも丹念に見る必要があるし、他の新聞と比べる必要があると、景氣ひとつ見てもそのように見ていただくとよい。今日の新聞をみて感じたことをご紹介します。もうちょっと景氣について話します。これは昨日の朝日新聞です。「中国減速 日本を直撃 景氣すでに後退の可能性」これも交代の可能性と書いてあります。中国の景氣が悪くなってきたから日本も巻き込まれて酷くなると書いてあります。半導体大手のルネサスエレクトロニクスは在庫がダブつきかねないため、9月までに最長2ヶ月間ほど休む。従業員に

は休業手当を出す方針である。麻生さんと同じ。景気が落ち込んできている評価は機械的にそういう言葉が決まっているので、単純に数字が出たからといって、政府としては「景気が拡大基調にあるという認識は変わらない」と官房長官がこちらにも暴言を発しています。日本ではもう工場を2ヶ月間休むということが出てきている。今朝タクシーに乗って、タクシーの運転手さんに「景気はどうですか？」と聞いたら「変わりません」と。「どう変わらないの？」って言ったら、初乗り410円になったら、今までタクシーに乗らない人が乗ってくれるだろうと発表があったけれども、実感として乗る人は全然増えていません。乗る人は安くなったと喜んでいただけです。実際は1割ぐらい減りました。景気はどん底に落ちてから変わっていません。オリンピックが終わったら景気がさらに悪くなると言ったのは、どうですかと聞いたら、もう落ちるだけ落ちたから、これ以上は落ちないじゃないでしょうかみたいなことを言っていました。朝日新聞はタクシーがスマートフォンのアプリを通じて相乗りを認められる見通しとなったと書いてある。タクシー業界も売上げや収入が上がらない。タクシーの運転手さんのお給料が約20万前後だと言っていました。人によっては30万~40万円稼ぐ人もいるだろうけれども、酷いときは10数万円。ならして20万円前後です。スマートフォンを通じて他人同士がタクシーに乗る相乗りが全面的に認められる見通しとなったことは何か。政府はキャッシュレス決済がやりたいということです。キャッシュレス決済をやるのは、現在の現金重視からスマホに切り替えているわけです。いま話していることは目の前に見えている話で、その奥に何かあるかという、文化文明です。文明でいくと人類が現金や通貨を発明したのは人類最大の発明だと思います。その通貨が消滅する曲がり角にきているわけです。通貨が無くなるわけです。ここ10年ぐらい言い続けていたら、だんだん仮想通貨が出てきて、その次にはスマホ決済が出てきています。紙幣とかコインが無くなる方向に今どんどん進んでいます。文化文明論でいけば、人類は新たな通貨機能を持つものに切り替えつつある転換期だという時代認識をもって見ると、日本政府もスマホ決済に、またはカード決済にどんどん切り替えようとしている。

横に広がる話としては、今朝の新聞で気になったのは、ディズニーのことが書いてあった。新たな配信サービスでディズニーの映像をスマートフォンで見られるから、どんどんスマホを通じてディズニーを見てください。スマホをもっと使えという動きが出てきている。そうすると、スマホを使って業務拡大して利益を出さないといけない。このままスマホ決済が進んでいったら、銀行は総崩れになるから、都市銀行は目の色を変えて、中身を変えています。クビ切りはどんどん進めています。みずほ銀行が1万9千人だったかな。去年みずほの株主総会に行った時に、頭取が当行は利ざや稼ぎの商売は全体から見ると半分以下になり、我々も努力してますみたいな言いかたをしていました。中にいる人はたまったもんじゃないですね。どんどんリストラされて、それでも残っている人は投資信託で歩かされている。変わってきた。そうすると政府は、証券会社と地方銀行は手を結びなさい。地銀同士で小さく纏まるのではなく、地銀と証券会社は合併してもいいということで、銀行はこれからまた新しい合併の時代だとすすめている最中だとお考えください。

それで面白いと思うのは、郵便局。預ける金額が跳ね上がりました。まだ決定ではないけど、まわりの銀行は反発の声をあげていますが、関係なしで進んでいます。

やっぱり同じことを言っても、言いかた、書きかたによってまるで変わってきている。それらをなぜ話したかという、どんどん景気が悪くなっていくからです。景気が悪くなって行って、直撃を受ける所は必死になって、それぞれが努力をしています。それから政府も努力をして景気が悪化するのを止めるように、良くなるように進めたいと思っておりますなど満載になっております。そういう見方をさせていただくとよい。

目の前の新聞の記事をちょっと横に広げて、この業界ではどう受け止めているのかなと思う。その中でちょっと面白いと思ったのが、産経新聞で上場子会社に対して、独立の社会取締役をさらに増やせと新聞記事に書いてあった。中身を読みますと、日産自動車は、フランスルノーの実質的な上場子会社だけれども、カルロス・ゴーン前会長の後任選別に少数株主の意向が生かされるかも注目されると書いてあった。わざわざゴーンさんのことが書いてあった。朝日新聞は独立の社会取締役を今後増やさなきゃならない。特に上場の子会社について、そういうことをしなきゃならんと書いています。同じネタでも、記事を書く人によって、引っ張ってくるものが違うのだと思う。デスク自体が権限を持っているから、ここにゴーン入れようと思ったら入れる。見出しと中身が全然違うというのはそういう新聞記事の作られかたの、まあ矛盾かな。今日は新聞記事の具体的な見方ということで、正面に見たものを、奥にある時代はどういう時代認識なのか。それから、その書いてある記事を横に広げて見たらどういう記事があるのかなと思うと横に広がっていきます。それで尚且つ、他の国々ではこの問題についてどう思っているのかと、小さい記事で下のほうに書いてあります。新聞を上から見下ろしてみる必要がある。

いま私が気にしているのは、毎月勤労統計調査の話と小冊子カレントで引っかかった。これはカレント 3 月号に載っていました。問題意識をもって見ると、雑誌にしても新聞にしても、おやっと引っかかる。何で新聞にこういう言葉が、差別語というのかな、あんまり出てこないのか。何で小冊子に載るのか。そういう問題意識をもって見ると、楽しくメディアの情報を受け取ることができます。

先ほど申しあげた毎月勤労統計調査に関して、カレントの中に載っていますが、この小冊子は国会議員全員に配られています。国会の人たちは読む人は読んでいるが、読んでない人は読んでない。でも政治家と話していると結構知っていますね。カレントに書いてあるものを読むと「正しい世論を喚起するために、政治・経済・防衛・外交・教育に関する正論を広く求め、主張し続けている」と書いてあります。ここの中に書いてある物を読むと、面白い。

国の統計職員数が調べて書いてありました。各省にわたる統計職員数が 2004 年は 6,241 名いた。それから 10 年経って、2014 年には 1,959 人で約 7 割も減っている。これだけ人数減らして、仕事は増えている。仕事をこなす人員が削られている。それで文句だけはつけられてやられてられるかというのが、正直なところだと私は思います。こういう小雑誌に

ちよろっと出てくるから面白い。それからカレントの中で、LGBTQ 何だか分からなかった。差別用語なようですけれど、何て読むか、やっぱり読んでも分からないですよ。Lはレズビアンと言う。何となく分かる。それから G はゲイ。B はバイセクシャル。バイセクシャルって何だろうと思ったら両性愛者と言うそうです。二つの性を愛する人。T はトランスセクシャル。申し訳ないけどイメージが湧かないが、性同一性障がい者と書いてありました。それで Q はクイアー。変態という意味です。そんなに笑わなくてもいいじゃないか。書いてあるので、もうちょっと細かく言うと、アメリカの話で、ミスターやミスとかミセスと呼ぶと差別になるから、代わりに MX と書いてミックスと呼べと差別してはいけないよということが現代に繋がってきております。先程の論語「子曰く、教有りて類無し」は差別してはいけないという言葉だけでも、それが現代になってみると差別はいけないというのは、色々な形であります。カレントを読んだら、そう思わせられました。あとカレントを読んでいて面白いなと思ったのが二つ。虫歯対策と筋トレの話が面白かった。

中斎塾フォーラム顧問の矢野先生がカレントを出しています。矢野先生は毎月一回誰かにインタビューをするのですが、だいたい天下国家を論じる人と話をしていますが、最近では天下国家を論じる相手がいなくなったのでしょうか。それで、歯の健康について医療法人社団室町会の歯医者さんに聞いています。その人が書いているのは、普通の歯を磨く方法では歯茎の境目に潜んでいる細菌を取ることはできません。よく読んでみると、朝起きたら口の中は細菌が増殖しているから、朝起きたら口の中をゆすぎなさい。別に歯磨き粉を付けなくていいから普通の歯ブラシで口の中を磨いてくださいということが書いてありました。だいたい虫歯を防ぐためには、きちんとした歯磨きをすれば歯槽膿漏は防げます。歯槽膿漏は生活習慣病ですと書いてありました。これは成る程なと思いました。

もう一つ筋トレ。ご長寿の金さん銀さんが歩けたのは、ハムストリングスを強化したから死ぬまで歩けたという話があります。足の強化でいくと、骨粗しょう症対策です。朝起きたとき、夜寝るとき、昼間気が向いたとき、両足の踵をあげて落とす。これだけで骨密度どんどん上がっていきます。それでハムストリングスは、その骨密度対策運動をして、その後ふくらはぎを伸ばす。ここを鍛えると下半身の強化につながり歩ける。カレントに書いてあるのが、下半身の筋トレを一生懸命すると、転移効果というものが医学的に言われており、下半身を鍛えると上半身の筋肉も強化されるそうです。それは良いなと思う。原理は分かっていませんが医学界では転移効果と呼ばれる現象で、現実にはそれがあるということです。下半身を強化すると上半身も強化されるということです。カレントの話はここまで。さて、レジメに従っていきます。

## 《基本哲学》

足るを知る。

## 《紹介書籍》

「悟りと発見」 中山正和著 PHP 研究所

本を回します。だんだん読みにくくなってきます。悟りに関する本は3ヶ月連続でご紹介しています。読んで分かりにくい本と、分かりやすい本があります。

すべからく本は、分かりやすく読みやすい本が良いと思っています。しかし、この間、丸山さんという長い付き合いがある弁護士さんが、深澤さんの書いた本を自宅に持って帰って読んでいたら、お母さんがちょっと見せなさいと持っていった。そうしたら返してくれない。どうしてと聞いたら、母親は教育者だから、こういう本を読むのが好きでずっと読んでいる。読み終えて母親がいろいろ良いことが書いてある。お前はたいした人とお知り合いなんだねと褒めて、この本のおかげで株が上がったよ、格が上がったよと言っていました。

『悟りと発見』これもう全部ひとつで済む。悟るというのは、何かで、はっと思えばいいんですよ。はっと思う。はっと思えば、それは悟りに繋がる。ところがはっと思う人生が無いとダラダラダラいく。さっきの虫歯も同じで、虫歯になるのはダラダラ食べ続けていると虫歯になると書いてありました。間食もなんとなくダラダラ食べていると駄目。

この物事は何故、何故と考える習慣が大事で悟りに繋がっています。一致しています。何事にもよらず、新聞を読んでも何故、どうして、どうしてって考えると、それは深く掘り下げていくということです。深く掘り下げる。そういう心の作用が、はっと気づく。悟りに繋がります。何事もどうして、どうして。赤ん坊の気分で、何故・何故・何故。小さい子の気分で、いくとよいと思います。

## 《テーマ》

「ものごとは、何故・何故と考える習慣が大事」

人生を深く考える。これも、何故・何故。自分はどうしてこの世に生を受けたのは何故だということです。歳を少し重ねてきたら、前に何回か申し上げている「か・き・く・け・こ」を考えるといいです。「か」は感動。感動する心が無くなっていたら、どうして私は感動しなくなったのだろうかと思えばいい。「き」何も興味がなくなったら、もうあの世が近いと思えばいいでしょう。どうして興味が湧かなくなったのだろうか。興味いろいろ湧くでしょう。感じなくなってきたということは、あっちが近くなってきたんじゃないかな。「く」工夫。じゃあなぜ感じなくなったのだろうか。何故で考えて、工夫すればいろいろな新しい物が見えると思う。「け」健康。健康は先程申しました健康を常に意識して、それで夜寝る



ときに健康法を実行したかどうか、お考えいただくとよい。「こ」恋心を持つがよいということです。歳をとったら、感動する心、興味を持つ心、工夫する心、健康を常に優先する心、それでは恋心を持つことがよい。それで、本来聞くべきものを聞かなかったので、お聞きします。

### 《恒例の質問》

・今年に入ってから、良い日がずっと続いているなど思う方。

これは主観です。良い日が続いていると思えば、それだけでいい。客観的にあれが良かったこれが悪かったと思う必要はないです。

・今年に入ってから比較的嘘はつかなかったなっ方はどうですか。ー有難うございます。

・今年に入ってから、有難うと言うことが多い。そして有難うと言われることも多い。

有難うと言うのは当たり前。有難うと言われることが多いかということ、これ意識してないと分かりません。有難うと言われることが少なくなればなるほど、世の中からいらなくなってきた。世の中から必要とされる人生は有難うと言われることが多い人。それで、有難うと言われることが少ないなと思ったら意識的に、夜寝る前に有難うと誰かに言わせればいいのです。

・今年に入ってから、健康法ずっと続けているという方。ーはい有難うございます。健康法は何かするといいいですね。

・自分磨きもずっと意識している。

・では昨晚、寝るときに、明日以降のことを過去形でイメージして寝た方。ーおひとり。有難うございます。

大体よい時間になりましたね。今日のまとめとして、悟りとは、何故・何故と追及する心。それを続けることによって、どこかではっとする。どこかではっとすると、それが悟りに直結していく道でございます。ぜひ、何故・何故は続けてください。有難うございました。